

i-ConおよびICT施工事例

1枚に1技術を目安に記載願います

JCMA機電i-Con現場WG

発行No
S-62

■技術名称	
切削機のMC技術	
■基本情報	
会社名	
工事名(発注者)	
活用工事分類	発注者指定 / 施工者希望 I 型 / 施工者希望 II 型 / 活用工事以外 (技術提案 / 創意工夫 / その他)
工種(大項目)	ダム / トンネル / シールド / 造成 (舗装 / 橋梁 / 構造物 / その他)
工種(小項目)	切削オーバーレイ工
ICT技術分類	①3D起工測量 ②3D設計データ ③ICT建機 ④SD出来形管理 ⑤3Dデータ納品 ⑥その他
■実施内容詳細	
対象数量	路面切削9,530㎡
実施回数・台数	切削機1台
実施期間	2015年 2月 ~ 2015年 11月 (実働 計1ヶ月)
施工段階での課題と解決方法 (1)	発生した課題： 切削後の清掃作業や一般車の通行により、トータルステーションとプリズム間が遮られ、制御が中断される 解決方法： 大型三脚を使用することで、継続作業が可能となった
施工段階での課題と解決方法 (2)	発生した課題：交差点部の施工であったため、施工はアライメントデータを、測量にはTINデータを使用したが見点以外の部分で高さにさが生じた 解決方法：TINデータを細かくすることで誤差は小さくなったがデータ容量が増えたことにより、測量機器の動作が不安定となった
施工段階での課題と解決方法 (3)	発生した課題： 解決方法：

作成者氏名	
連絡先(アドレス)	
■参考図・写真	
	
3m三脚(左)と通常三脚(右)	切削機による切削状況
	
TSによる測量状況	
■感想・要望事項	
<p>切削オーバーレイの場合、その日のうちに切削から表層施工までを行わなければならないことが多いが、各層の出来形測定が終了しないと次の工程に移れない状況となる。</p> <p>TS出来形やスキャナで管理を行う場合、現場状況によっては測量機器の移動を頻繁に行うこともあり、通常管理よりも多くの時間を要する場合も多い。</p> <p>⇒ICT施工のMCを行う場合には、管理ポイントの大幅削減や任意点での管理が行えるように変更して頂ければと思う。</p>	